



人にも猫にも

猫新聞

郵便振込口座
00830-2-204941 Go!Cats
<http://go-cats.main.jp/>

ゴーキャツは浜松市を中心に、飼猫・野良猫の不妊手術推進、猫の譲渡会開催などの活動をしています

市内の路上で足にケガをしてふらふらと歩いていた子猫に出会いました。痩せこけており足に大きなケガをしていたので、近所のペット病院に連れて行き入院と検査をお願いしました。治療の目途がつけいたらワクチンの接種と去勢をして里親を探してあげたいと考えています。里親を見つけるための方法が分からないので教えていただけませんか。

三毛猫が我が家に居着いています。痩せていたので朝晩食事を与え、屋外の小屋に寝泊まりしています。警戒心が強く近づくと逃げますが戻ってきます。三毛猫なのでたぶんメスだと思いますが、このままではいつ妊娠してくるか心配です。不幸な仔猫を産ませない為の避妊手術助成金のことをネットで知りました。ご検討をお願いいたします。

浜松市中区に主人の両親が住んでいます。その離れに野良猫母子（4匹5か月くらい）が住みついています。手術をしないと大変な数になってしまいます。市には今予算がないと言われていましたが、待っていたら親は妊娠してしまうかもしれません・・・野良猫なので捕まえるのも難しそうです。親猫は至急 SOS なのです。助けていただけませんか？

本日、会社近くにいる野良猫の子供を2匹捕まえました。病院に連れて行ったら8週間くらいとのことでした。一時的に同僚が預かっています。新聞にもらって頂ける方を募集する内容の記事を載せるつもりでいます。当日、もし連絡がなかった場合は里親が見つかるまでこちらで子猫を飼育しますので、譲渡会に参加させてもらう事は可能でしょうか？

Go! Catsに届いた相談のメールです。数日前には、『最近ガリガリに痩せた猫が姿を見せる。できることなら飼ってやりたいと思うが、近づくと逃げてしまう。どうやって捕まえたら良いだろうか』という相談も寄せられました。どれも、『かわいそうな猫がいるからなんとかしてやって』じゃなくて、『かわいそうな猫を何とかしてやりたいから力を貸して』という、私たちをやる気！！にさせてくれる内容のメールです。

里親探しの相談には譲渡会の案内や里親探しの方法などを書いて返信しましたところ、飼ってくれる人が見つかったと後日嬉しい知らせが届きました。

一方、繁殖の心配を相談してきた方には捕獲のアドバイスをし、病院を手配して、助成金をお出ししました。現在は、どちらの方も元の場所で手術の終わった猫たちの世話を続けてくださっています。

「どうしようかと悩むばかりでしたが、相談してみて本当に良かった」と言ってくださいました。誰かに話してみることが解決の第一歩になるのかも知れませんね。

猫のことで困り果て、でも、ご自身で良い形で解決をなさったこの方たちは、同じように困っている人に出会った時、きっとご自分の経験を話して助言をし、「あなたも何とかなるよ」と力づけてくださることでしょう。こういう事が普通に、当たり前になった時、猫をとりまく環境も社会も大きく変わっているのだらうと思います。



「小さな命について考えるパネル展」

日時：毎月第4土曜日(12:00~17:00)

場所：遠鉄百貨店正面玄関前(雨天中止)

殺処分のこと、捨てられた犬や猫のこと、動物実験のこと

パネルを通して動物たちが置かれている現実を見つめてください。

どうぞおでかけください！

※譲る会もパネル展も場所や日時を変更することがあります。

「みんな幸せになってほしい！」と願って開く

「仔猫・若猫譲る会」

第1日曜日：ペット愛ランド早出町店(11:00~15:00)

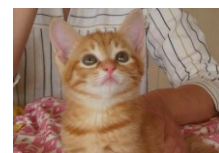
(7月~10月は鴨江西町公民館)

第2土曜日：熊平動物病院(半田山 12:30~15:30)

第3日曜日：ペット愛ランド志都呂店(11:00~15:00)

第4日曜日：西山会館(西山町 13:00~16:00)

元気でかわいい猫たちがたくさん参加します。



ゴミステーションからの生還



今日、7月8日の正午過ぎ。近所の農家にトマトを買いに行ったはずの夫が、「大変だよ！」と血相かえて玄関に飛び込んできました。ガムテープで蓋を閉じた小さなダンボール箱を抱えています。訳もわからず突っ立ったままの私の横で、「猫だよ、猫が入ってるんだよ！！」と言いながら、夫がもどかしげにテープをはがしたところ、なんと、中に入っていたのは本当に生後2週間も経ってないような2匹の赤ちゃん猫でした。私たちを見て、シャーッ！プッ！！と自分の小さな体が飛びあがりそうな勢いで威嚇してきます。そりゃそうです。驚づかみにされ、箱に閉じ込められて炎天下に置かれただけでなく、ごみ袋の山に押しつぶされるとこだったのですから。どんなにか怖く、苦しく、心細かったことでしょう。31度という暑さの中で何時間も良くがんばりました。

夫の話によると、「ゴミ置き場を通り過ぎたところ、どこかで子猫の鳴き声をしたような気がしたので引き返して、周りを見てみたが猫がいそうな気配もない。離れようとするともたまた聞こえてくる。そうこうしているうちに鳴き声は一段と大きくなり、ようやくごみの山の中だと気が付いた。ごみ袋を一つ一つどけていったら下の方にダンボール箱が置いてあり、その中で鳴き声が出ていた。ゴミの山の中に猫がいるなんて思ってもみなかった」ということでした。

もし、通りかかった時に猫が鳴かなかったら・・・もし、この日に限って遅かったゴミ収集車がいつもの時間に来ていたら・・・考えるだけでぞっとしてしまいます。

子猫の無事が確認できたところで、当然のことながら怒り爆発です。

普通に人間であるのなら、自分が箱をここに置けば中の子猫がどういことになるのか、その悲惨な経過と結末は考えるまでもなくわかることです。わかっていながら置いたとしたら・・・それはもう人間ではありません。

生き延びる可能性を求めもしない非情な捨て方。捨てた人にとっては、目の前で動き、鳴いている小さな命は「ゴミ」だったのでしょか。信じられない話です。この人だってもし自分に子供や孫がいたら、「命はひとつしかないよ」「命より大事なものはないよ」と言って聞かせることでしょう。命の大切さが人と猫とどう違うのが聞いてみたいものです

数時間たった今、猫たちはミルクを飲んでお腹いっぱいになり、おだやかな顔で寝ています。それだけが救いです。

ノラ猫の不妊手術助成キャンペーン実施中

公園や庭先でエサを与えているネコたち、近所に住みついたネコたち、避妊・去勢手術はもう済んでいますか？ 餓死したり、動物管理センターで殺処分されるような不幸な仔猫を産ませないために、是非今のうちに不妊手術を受けさせてください。ネコが増えて嫌われたり邪魔者扱いされたら、あなたのやさしさが逆にネコを苦しめたり、死に追いやったりすることになってしまいます。

手術費用の捻出は大変かも知れませんが、寄せられる苦情、ご近所への迷惑、増えるエサ代、里親探しの苦労、精神的な負担等を考えたらやはり **「産ませないこと、増やさないこと」** がベストの選択になるのではないのでしょうか。

ゴーキャッツは皆様からのご寄付や募金を基金として、飼い主がいない猫の避妊・去勢手術にメス 6000 円、オス 4000 円の助成金をお出ししています。低料金で手術をお願いできる病院もご紹介します。まずは事務局にお問い合わせ下さい。